

## 白山の火山活動解説資料（平成 23 年 6 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。  
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

## ○ 活動概況

## ・ 噴気など表面現象の状況（図 1）

白峰（白山山頂の西 12km）に設置してある遠望カメラでは、悪天候のため欠測の期間がありますが、その他の時間帯では山頂部に噴気は認められませんでした。

7 日に北陸地方整備局の協力により実施した上空からの目視及び赤外熱映像観測<sup>1)</sup>では、噴気や熱異常等は認められませんでした。

## ・ 地震や微動の発生状況（図 2、図 3※）

今期間、機器の障害により欠測している期間がありますが、それ以外の期間では白山付近を震源とする地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

1) 赤外熱映像装置により観測しています。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。



図 1 白山 山頂部の状況

（6 月 6 日 白峰遠望カメラによる）

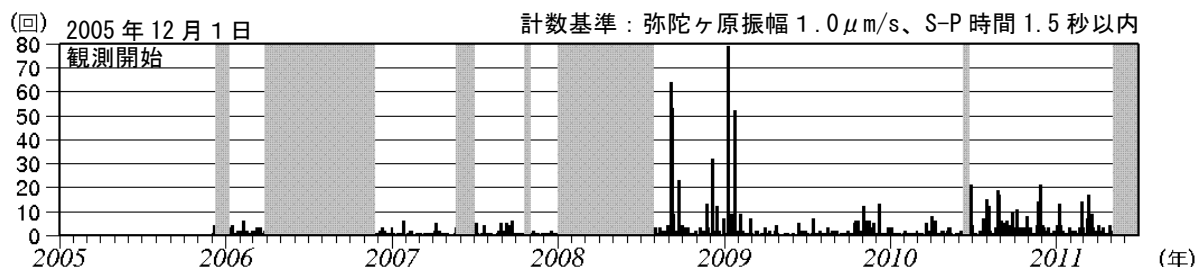


図 2 白山 日別地震回数（2005 年 12 月 1 日～2011 年 6 月 30 日）

図の灰色部分は機器障害のため欠測

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 7 月分）は平成 23 年 8 月 4 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用したものです（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

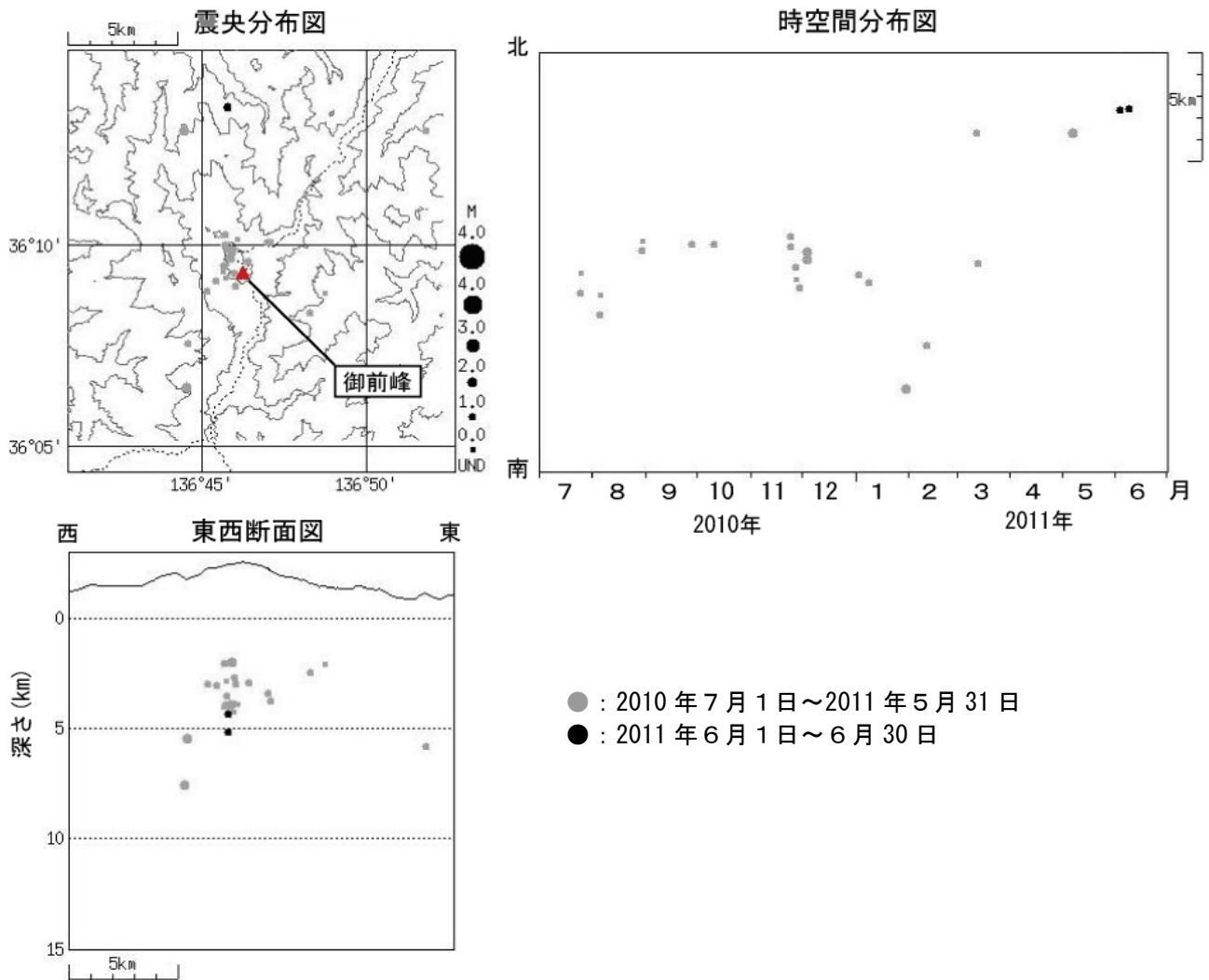


図 3※ 白山 広域ネットによる山体・周辺震源分布図（2010 年 7 月 1 日～2011 年 6 月 30 日）

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。

3 月～5 月分は一部未処理の期間があります。

図中の震源要素は一部暫定値で、後日変更することがあります。

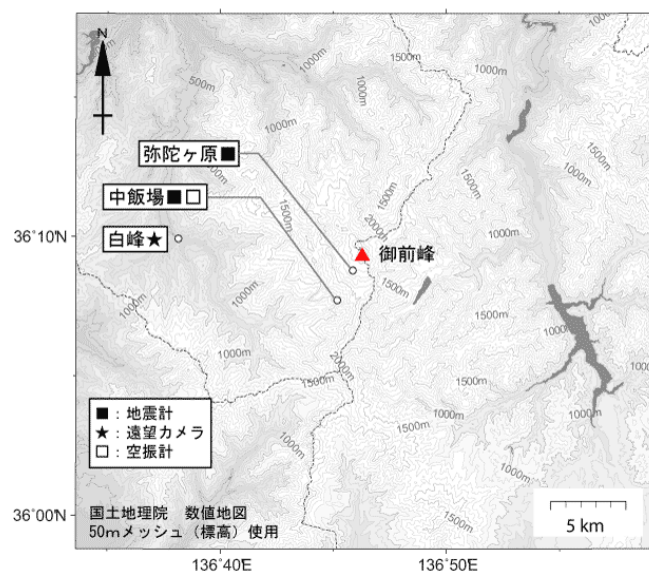


図 4 白山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）  
運用開始前の観測点も含みます。